

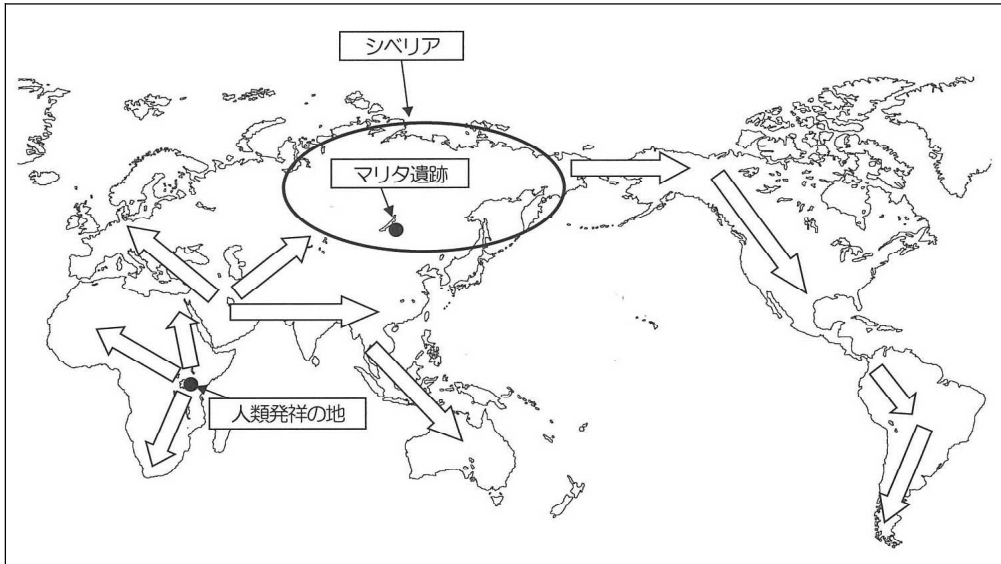
### 3 人類の誕生

#### 1. 猿人の誕生

- ◎これから歴史の学習を本格的にはじめていくけど、まずは私たち人類の祖先がどのように誕生したのか、考えていこう。人類の祖先である動物は何？  
人類と猿の違いは何？ ⇒猿、二足歩行など
- ◎今から2秒ほどで、人類の進化の過程を表現します。  
\*四足歩行から二足歩行へと移行する過程を生徒たちの前で見せるのもよい。
- ◎人類と猿との大きな違いは二足歩行だね。人類って、どこで誕生したの？  
いつ頃誕生したの？ 初期の頃の人類を何というの？ ⇒アフリカ、約700万年前、猿人
- ◎人類は約700万年前、東アフリカで誕生したんだ。二足歩行ということは、それまで前足だったものが何になるの？ 手を使うと何が利用できるの？  
道具って何？ ⇒手、道具、石器
- ◎石器を利用した他、火を使用したり、言葉を発達させたりしたんだ。お互いの意思を伝え合うようなコミュニケーション能力も身につけたんだけど、それに伴って脳も発達したんだね。つまり二足歩行によって、人類の脳は高度に発達したんだ。

#### 2. 旧石器時代

- ◎この頃の石器は、石を打ち砕いただけのものなんだけど、こういう石器のことを何というの？ 約20万年前頃になると、現代人の直接の祖先となる人類が現れたけど、この人類を何というの？ ⇒打製石器、新人
- ◎約10万年前、新人はアフリカを旅立ち、各地に移動した。その多くが温暖で住みやすい東南アジアやヨーロッパなどへ移動したんだけど、その流れに反して、一部が寒冷期のシベリアに向かった。さらにシベリアから北アメリカ、南アメリカへと移動したんだ。なぜ一部の新人は寒冷期のシベリアへと移動したんだろうか？ ⇒食料となるマンモスなどの動物がいたから
- ◎約2万3000年前のマリタ集落跡からは、今は絶滅してしまったマンモスの骨などが発掘されている。マンモスというのは寒冷地に適した象で、シベリアへ移動した人類は食料となるマンモスを追ったマンモスハンターだったんだね。ちなみにマンモスって、どのくらいの身長だと思う？ ⇒約3.5m
- ◎身長約3.5m、体重約6 tもある陸上最大の動物だ。マンモスハンターたちは、そんなマンモスをどのようにして仕留めたのだろうか？ ⇒水辺に追い



さいせきじん  
 込んで細石刃のヤリで仕留める

\*マンモスを仕留めた方法については、グループで考えさせてもよい。

①地理で学んだように、シベリアには永久凍土というのがあったね。この永久凍土の中から、子どものマンモスが腐らずに出土したんだ。胃に大量の泥があったことから、水辺のぬかるみで溺れ死んだとされている。マンモスのような大型動物を水辺のぬかるみに追い込み、動きを鈍くさせたんだね。そしてシベリア独特の細石刃という打製石器を、動物の骨の側面に埋め込んだヤリで仕留めたんだ。このヤリは動物の骨をも貫く威力があったんだ。仮に細石刃が欠けても交換することが可能で、替え刃式カミソリのような機能があったとされる。巨大で気の荒いマンモスに正面から立ち向かっても勝ち目はない。そこでマンモスハンターたちは、細石刃のヤリを手に、集団で水辺にマンモスを追い込んだ。時には何日もかけて仕留めたと考えられるが、こうした集団での狩猟の中で高度なコミュニケーション能力まで身につけた。しかし、約2万年前になると、このマリタ集落跡からマンモスハンターたちがくらしした痕跡が忽然と消えてしまう。なぜかな。疑問が残るところだけど、時間がなくなってきたので、また次の時間に考えていこう。

